



としょかんだより



2023年10月26日

天草中学校 学校司書 浪崎直美

11月は読書月間です

11月は読書月間です。いつもの月以上に意識して読書に取り組みましょう。

図書室の展示コーナーに読書月間限定の『ビブリオマンシー』を設置しています。ビブリオマンシーとは、直感的に開いた本のページからメッセージを受け取る書物占いのことです。パッと目についた言葉や文が、その時あなたに与えられたメッセージです。今日、あなたに必要な言葉はなんでしょうか。気軽に楽しんでみてください。

ビブリオマンシーのやりかた



① 本を選ぶ



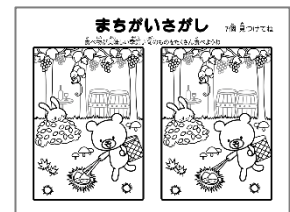
② ココ!と思うところを開いてみる



③ 目に入った言葉や気になった文を読んでみる



『ビブリオマンシー』の他に、読書月間限定『まちがいさがし』や『アニマルオラクルおみくじ』を用意しています。まちがいさがしは週ごとに内容がかわりますよ! 休み時間は図書室でホッと一息つきませんか?



* 司書のつぶやき *

図書館や本屋さんで本を選ぶ時、みなさんは何を基準に選んでいますか? 好きな作家さんがいる、知りたい・調べたいことがある、メディアや SNS など話題になっている...などいろいろあると思います。ただ当てもなく「何か面白そうなものないかな」と眺める時はタイトル(背表紙)、表紙、帯などを見るでしょう。「帯」にはその本の魅力をアピールするためのキャッチコピーや書評、あらすじなどが書かれています。ここ近年、その帯がすごく大きくて魅力的なものが増えました。ただ、これが司書を悩ませる種なのです。図書館の本は、長くきれいな状態を保つためにブックコートというカバーをかけます。基本的に帯は外してカバーをかけるのですが、帯を外すと魅力が激減する本があります。2022年に出版されたヨシタケシンスケさんと又吉直樹さんの二人で書かれた『その本は』(ポプラ社)がまさしくそれで、外すとただの緑色の本になります。散々悩んだ結果、ヨシタケさんの絵が可愛くて、つけたままカバーをかけました。このように例外はありますが、通常内容が良く伝わる帯は、切り取って「見返し」に貼っています。どんな本かなと迷ったときは参考にしてくださいね。



【11月の移動図書館いるか号巡回日】 11月2日(木)